



編集：メディアウオッチ100人会
 発行：㈱メディア評価研究会
 連絡先：mediawatch100@nifty.com

デスクからの一言

「幽霊が見える」「海を人が歩いていた」—。そんな超常現象の感覚が、東日本大震災の被災者を悩ませている、と18日付産経新聞(2面)が報じていた。被災による心の傷ともいえるが、行政では直接対応しにくい悩みである。そこで仏教、キリスト教などの宗派を超えて民間の宗教関係者が「心の相談室」を開設し、相談に応じているという。被災者の様々な心のケアも、復旧・復興の重要課題であることを痛感する。(山城)

今日の読み物

□ ニュースチェック

- 諸悪の根源はメディアにある (土屋 繁)
- 一番面白い言葉を書かない? (柳沢 保正)

□ ウオッチ

- 疑うことを知らない (柳沢 保正)
- 「大飯原発」ストレステストをめぐる混乱 (池田 龍夫)

□ かるちゃーひろば

- 再び、吉田拓郎はどんな「上弦の月」を見たのか? (石瀧 豊美)

□ 編集部から

ニュースチェック

諸悪の根源はメディアにある

土屋 繁 (毎日新聞OB)

市川房枝記念会女性と政治センター出版部発行の2012年1月号の『女性展望』。新春座談会「難局をどう乗り越えたか」で、秘書給与流用事件で03年7月に逮捕された辻元清美衆院議員、1998年出版の『修羅の棲む家』に絡む偽作者登場事件に巻き込まれた西舘好子日本子守唄協会理事長、そして虚偽有印公文書作成事件で2009年6月に逮捕された村木厚子内閣府政策統括官の3人は、それぞれ当時の過熱した報道合戦を振り返り、「諸悪の根源はメディアにある」と断罪している。

辻元氏は「メディアは検察や警視庁のリークを裏も取らず平気で報道している。それを打ち消すことが出来ない」と怒りを露わにし、西舘氏が「メディアと闘おうと反撃したら、とことんやられてしまう。それで、言わない、見ない、聞かないを決めて生き延びた」と“三猿主義”で耐えたと言えば、村木氏は拘置所に入った最初の夜、マスコミ攻勢もなく爆睡したという。

村木事件では、検察の不当性をメディアが暴露したが、3人の体験は取材陣に警鐘を鳴らしている。取材にも一定の節度がなければ、メディアは信頼されないと。

(つちや・しげる) 1969年毎日新聞入社。政治部編集委員。元中国山東省維坊学院大学日本語科副教授。著書に『日残りて昏るるに未だ遠し』ほか。認定NPO法人・江戸城再建を目指す会理事。